

## 先端技術キーワード解説

## 知っておきたい最新の動き

## [BABOK : Business Analysis Body of Knowledge]

最近、IT のプロジェクト関係で注目されている用語に BABOK があります。BABOK (Business Analysis Body of Knowledge) は、その用語通り、ビジネス分析 (Business Analysis) の知識体系です。今月は、この BABOK を取り上げたいと思います。

プロジェクトマネジメントの知識体系については、PMBOK (Project Management Body of Knowledge) があります。1987 年に、PMI (Project Management Institute) が制定しました。それまでのプロジェクト管理は経験と勘によるものでした。それが、PMBOK の登場により、体系的な知識体系による科学的なマネジメントに進化しました。

ところが、プロジェクトマネジメントが順調に行われても、完成したシステムが使えない、使いづらいという問題は後を絶ちません。この原因は、対象とする業務内容を確実に把握した上で、解決したい問題や課題、要望事項などを咀嚼し、本当に必要とすべき機能を抽出するということが不十分なためです。つまり、ユーザーの真の要望から、システム開発の仕様に落とし込む最も重要な工程が不完全なことによることがわかってきました。



BABOK が焦点を当てているのが、まさにこの工程です。すなわち、「業務と開発システム間のギャップ」、別の言葉で言えば「ユーザーとベンダー間のギャップ」を埋める極めて重要な部分です。システム開発プロジェクトの成功のカギを握ると言ってもよい工程です。

BABOK では、この工程を「ビジネス分析」として定義しています。前述のように、システム開発工程の最上流である要件定義よりも前の工程を指しています。

「ビジネス分析」とは、その企業や組織が抱える問題・課題を解決し、さらに業務による出力を最大化するための調査、分析などの活動です。そして、この活動は、ユーザーとベンダー協同で行われますが、最も優先される目的は、ユーザーにとってのメリットです。したがって、解決策は必ずしも現業務・組織ありきの最適なシステム開発とは限らず、業務プロセスの再構築、組織構造の見直しなども視野に入ります。この意味で、本工程を主体的に進めるのはユーザー側でなければなりません。

BABOK は、PMBOK と同様、複数の「知識エリア (knowledge area)」を定義しています。それぞれの知識エリアでは、さまざまなレベルの要求を漏れなく体系的に抽出するために、ビジネス分析をする手順とタスクが定義されています。

その知識エリアは以下の 7 つから構成されます。

- (1) ビジネス分析の計画とモニタリング (Business Analysis Planning and Monitoring)
- (2) 要求の管理と伝達 (Requirements Management and Communication)
- (3) エンタープライズ分析 (Enterprise Analysis)
- (4) 要求の引き出し (Elicitation)
- (5) 要求の分析 (Requirements Analysis)
- (6) ソリューションの評価と妥当性確認 (Solution Assessment and Validation)
- (7) コンピテンシ (Underlying Competencies)

BABOK は、任意団体である IIBA (International Institute of Business Analysis) により制定されています。また、ビジネス分析の専門職種として、BA (Business Analyst) が規定されており、資格試験も実施されています。

近年、ユーザーの情報システム部門は、(表向きの) 効率化、経費節減などから、年々、縮小、あるいはアウトソーシング化の傾向にあります。BABOK の制定、普及により、企業本来のあり方などが見直されていく動きが出ることを期待します。

(注)

本解説は、執筆当時の状況に基づいて解説をしております。ご覧になる時には、状況が変わっている可能性がありますので、ご注意をお願いします。

Copyright (C) Satoru Haga 2010, All right reserved.

<p><b>技術・経営の戦略研究・トータルサポーター</b></p> <p><b>ティー・エム研究所</b></p>	<p>工学博士 中小企業診断士 社会保険労務士(登録予定) 代表 <b>芳賀 知</b></p>
<p>E-Mail: info_tm-lab@mbn.nifty.com      URL: <a href="http://tm-lab@a.la9.jp/">http://tm-lab@a.la9.jp/</a></p>	